
ディアルガ対パルキア対ギラティナ

水城 士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ディアルガ対パルキア対ギラティナ

【Nコード】

N0211P

【作者名】

水城 士

【あらすじ】

由名と由野は、親無しの、兄弟であった、ある日、ポケモンリーグを見に行つて、終わった時に伝説のポケモンのディアルガとパルキアがあらわれた……。由名と由野は、この世界を救うべく、ディアルガとパルキアに問いかけてみるが、全く聞いてくれない。その時、反転世界のギラティナが現れ、ディアルガとパルキアに攻撃してきた……。

(前書き)

作『皆さん、こんにちは』聖羅です……短編を書きましたので、
ゆっくり見てください』

ディアルガの祭つてある塔では……1人の女の子がお祈りをしてる

パルキアの祭つてある塔では……1人の男の子がお祈りををしていた……

のち、この2人は、伝説のディアルガ、パルキア、ギラティナを操る事になる2人であった……

女の子の名前は、由名 (ゆな) 男の子の名前は、由野……

(ゆの)

この2人は、『超克せいよ、時空の定めよ!!!!!!』という言葉で、ポケモンとの、会話や気持ち分かる……

由名『今日も、塔に行つて、お祈りしなきゃね』

由野『そうだなって今日は、ポケモンたちの、リーグ戦に行くつて行つたじゃないのか』

昨日、由野が言いました

由名『うん、お祈りしてからでも、いいでしょう?』

いいかな?間に合うかな?

由野『はいはい』

それから、1時間後……

由野『お祈りもしてきたところだし、そろそろ、リーグ戦会場にいこうか』

由名『ひさき選手たのしみだなくたって、去年も優勝してるんだから』

そうだよな、そうだよな……

由野『うん！……レッシンゴ〜』

由名『YES！……！』

リーグ戦会場……

司会『ひさき選手！……2回目の優勝なるか〜』

ひさき『行け！……！フワライド！……！』

相手『行け！……ゴンベ』

ゴンベか、ひさきさん勝てるな……！

相手『舌でなめる』

べろっ！……！

ひさき『汚い！……！フワライド……！あやしいかぜ』

由名『何で？星が、！！戦ったら』

由野『うん、その事は分かってるよ』

・・・どうしようか

ディアルガ『~~~~~』

ボカーン・・・

ディアルガは、ときのほこつを使った

パルキア『~~~~~』

ドシューン・・・

パルキアは、エアロブラストを使った

由名『超克せいよ時空の定めよ』

『ディアルガ？ 何ですって？えっと、通訳すると・・・ディアルガの世界に、パルキアの、軍団が押し寄せてきたから』

由野『俺も聞いてみる！！！！超克せいよ、時空の定めよ、パルキア！！答えてくれ！！！！？？？？？？パルキアも、ディアルガの軍団が押し寄せてきたからだって』

突然、湖が割れ、キラティナが出てきた・・・

さい、あなた方の世界で、戦いが起こったらイヤでしょ？それと同じです仲直りして、自分達の世界に帰ってください』

キラティナ『ぐるぐるぐるぐるぐるぐるぐる』

ディアルガ『くくくくあつく』

パルキア『うぐうぐうぐうぐうぐ』

由名『帰ってくれるみたい』

こうして、ポケモンたちは、自分の世界に帰り、平和に暮らしましたとさ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0211p/>

ディアルガ対パルキア対ギラティナ

2010年11月20日14時29分発行